

被爆ピアノ平和コンサートを通して

10月16日（金）に本校体育館で「被爆ピアノ平和コンサート」が開催されました。このコンサートは、「被爆したピアノの音色を多くの人に聞いてもらうことで、平和を考えるきっかけにしてほしい。」と考えた調律師の矢川光則氏によって全国を巡っているものです。矢川さんは、原爆で被爆したピアノを修復し、現在6台を所有していますが、その中で唯一海を渡り、2017年のノーベル平和賞受賞式でノルウェーのオスロで演奏されたピアノが本校に来ました。プロの演奏者である橘光一さんの見事な演奏の後、本校生を代表して2名の生徒が心のこもった素敵な演奏を披露してくれました。「このピアノの音色を覚えておいてね。」という矢川さんのことばが心に響きました。

選択授業を中心に事前学習を進めて来た中で、「名作鑑賞」選択者3年次生18名は、広島や原爆に関連する作品を読み、作品のあらすじと感想をまとめて、本校の図書館前交流の広場に展示してくれました。また、「テーマ別日本史」の授業では、ナカモト アキコさんのドキュメンタリー番組を視聴し、アキコのピアノで知られる被爆ピアノについて学びました。さらには、「ポピュラー・サイエンス」で校舎周辺の樹木調べをしていた生徒が、この辺では珍しいアオギリの木が1本あるのを見つけ、いろいろ調べた結果、16年前の修学旅行で広島を訪問した2年次生が「被爆アオギリ」の苗木を譲り受け、植樹したものであることが判明しました。今や大きく育った「アオギリ」ですが、矢川さんの「被爆ピアノ」の活動も「アオギリ」をきっかけに始まっているとお聞きし、被爆した広島と左沢高校で

開催されたコンサートの不思議な縁を感じたところです。この貴重な「被爆アオギリ 2 世」は、平和への祈りと共に、大切に育てていきたいと考えています。

折しも終戦から 75 年を迎えた今年、矢川さんの取組みは、「おおかさんの被爆ピアノ」として映画化され、8 月から全国で上映されています。広島のことを知らない（知らされていない）奈々子という学生の視点を通して、広島で起こったこと、平和とは？という深いテーマについて静かに訴えかけるこの映画、機会があれば、是非見てください。